

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第8回大潟区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・報告事項

(1) 令和3年度冬期道路交通確保除雪計画について

(2) 大潟健康スポーツプラザ 鶺の浜人魚館の今冬の営業について

・協議事項（公開）

(1) 「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について

(2) 自主的審議事項「大潟健康スポーツプラザ鶺の浜人魚館の利活用について」

・その他（公開）

3 開催日時

令和3年12月23日（木）午後6時30分から午後8時45分まで

4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 2階 大会議室、市民活動室（1）

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐郁代、五十嵐公子、金澤信夫、君波豊（会長）、佐藤忠治（副会長）

新保輝松、関清、土屋郁夫、中野幹根、濁川清夏、俵木一松、俵木晴之、

細井雅明、山岸敏幸（14名中14名出席）

・柿崎区総合事務所：武田建設グループ長、滝澤産業グループ長、玉井班長

・事務局：大潟区総合事務所 熊木所長、柳澤次長（総務・地域振興グループ長兼務）、

平野市民生活・福祉グループ長、渡邊教育・文化グループ長、岩片班長、

水澤主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【柳澤次長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【君波豊会長】

- ・ 挨拶
- ・ 会議録の確認：中野幹根委員に依頼

【君波豊会長】

それでは、報告事項（1）令和3年度冬期道路交通確保除雪計画について、柿崎区総合事務所建設グループから説明してもらおう。

【武田G長】

令和3年度冬期道路交通確保除雪計画により説明。

【君波豊会長】

質問、意見はあるか。

【関清委員】

中学校のプール跡地の右側に雪を積んでいる。広い土地なので、お宮の塀沿いの雪も入れることができたと思う。そうすれば少しでも道を広げられたのではないか。排雪の場所は、町内会ごとに業者との打合せ等を促しているのか。

【武田G長】

大潟区については、住宅が連坦しており市道が狭いところも多い。海岸に雪捨て場を何か所か設けてあるが、路線近くの空き地を利活用させてもらうことによって、早期に解消することは、昨冬も経験して十分に分かっていることである。その中で、民地を利用した雪置き場を調査し、改めて町内会長に確認している。これまで通り利用できる場所もあるが、今冬は利用できないところもでてきている。我々も、空き地等を見つけ雪置き場を確保していかなければならないと感じている。今後も、新たに確保する場所、継続する場所の確認とお願いは進めていきたいと考えている。お宮の塀沿いについては、除雪業者と協議する。

【佐藤忠治副会長】

除雪、停電に関して、防災無線の活用がされていないと感じる。昨冬の反省を踏まえて活用いただきたい。

【君波豊会長】

11月初めころの上越タイムスで、既に緊急除雪作業報償制度に11団体が登録したとの記事があった。大潟区に関しては、これから町内会ごとに登録していくと考えてよいか。

【武田G長】

今までは事前登録の書式ができてなかったため、電話で受付け登録した団体もある。今後は、申請書を提出していただきたい。

【君波豊会長】

昨冬の大雪時、県知事が「これからは、国、県、市を問わず連携して交通が麻痺しないようにしたい。」と言っていた。国道は、国が一生懸命やっているが、県道や市道と交わるところは除雪されない。仕方なく、県道、市道の除雪時に十字路の隅に雪をためていくということがあった。今冬は、そういったことは解消されると思うが、通学路である場合もあるので、ぜひ連携を密にして除雪をお願いしたい。以上で報告事項（1）を終了する。

次に報告事項（2）鵜の浜人魚館の今冬の営業について、柿崎区総合事務所産業グループから説明してもらおう。

【滝澤G長】

資料No.1により説明。

【君波豊会長】

質問、意見はあるか。

【佐藤忠治副会長】

年末年始の営業はどうなっているのか。

【滝澤G長】

12月31日、1月1日、2日の3日間休館する。プール営業は現在、午後1時から6時までであるが、12月29日、30日、1月3日については、午前10時から営業する。レストランも12月30日と1月3日については、午前11時半から午後8時ま

で営業する。

【俵木晴之委員】

資料に「平日夜間も宴会等については、柔軟に対応します。」と記載されているが、宴会等は最低何人からできるのか。

【滝澤G長】

人魚館では、人数を決めてはいない。他の施設では、5人以上、10人以上と人数を決めているところもあるが、コロナ禍において大人数の宴会は少ない状況であり、施設側で柔軟に対応するとのことである。

【俵木晴之委員】

少ない人数で、経費ばかり掛かっても良くないのではないかと考えた。

【滝澤G長】

施設側としてはできるだけ予約される方のご希望に沿いたいと考えている。レストランは、一人の利用単価が低い中で厳しい状況であるが、宴会の予約については柔軟に対応したいと聞いている。

【君波豊会長】

以上で報告事項を終了する。協議事項に移る。(1)「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について、事務局から説明してもらう。

【岩片班長】

令和3年9月16日開催第5回大潟区地域協議会資料No.1により説明

【君波豊会長】

第5回大潟区地域協議会で「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組についての説明を受けたときには、委員からの質問、意見はなかったが、佐藤副会長から、「頑張っている地域協議会を例として挙げて評価するべき。」との意見があった。まずは、アの意見交換についてだが、大潟区では、すでに地域協議会、町内会長協議会、まちづくり大潟、総合事務所による「大潟区連絡会議」を組織し、年数回の情報交換、協議を行っている。また、他の団体が新たな事業等に取り組むときなどに参加していただき、情報提供してもらう場を設けている。意見交換について、「こういったことが足りない。こうしたらどうか。」といった意見があれば出していただきたい。

【細井雅明委員】

新市長は、地域協議会に対して違った考えを持っているという話も聞いており、これまでの地域協議会委員の意見に対し、我々が、どうこう言うのはどんなものかと考えていた。大潟区は、団体等が多いわけではないので、いろいろな団体と意見交換する機会があってもいいという気はする。

【君波豊会長】

これまで、地域協議会委員が観光協会や商工会などに出向いて意見を聞くなどはしてきた。

【五十嵐郁代委員】

今後どうするかと検討する事項は、今のところ見当たらないと感じている。意見交換会の開催方法の工夫などは、次年度以降、方針等が変わった時に協議していけばよい。

【佐藤忠治副会長】

上越市全体でも連絡会議のようなものを作っているのは大潟区だけである。しかし、地域協議会委員と町内会長協議会との話し合いの場を設けているところは数多くある。そこで問題点や課題を出し合い、それを自主的審議事項に繋げたりしている。大潟区では、これまで1度もなかった。地域協議会発足当時に計画したことがあるが、地域協議会委員と町内会長を兼務している方から「なぜ開催する必要があるのか。」と意見が出て実現しなかった。大潟区連絡会議は、会長、副会長のみの出席である。全委員が、全町内会長、まちづくり大潟の全役員と意見交換する場を設けることが課題であると思う。

【君波豊会長】

発足当初より、まちづくり大潟と町内会長との連携が密になってきていると感じている。まちづくり大潟の会費徴収についても、以前はまちづくり大潟のメンバーが行っていたが、今は町内会長経由で行っている。各町内会長がまちづくり大潟の何らかの部会に参加している雰囲気が見られる。

【土屋郁夫委員】

大潟区連絡会議は、協議結果の要旨を紙等で示していただければ十分であると考えている。

【君波豊会長】

皆さんには口頭で報告してきた。

【土屋郁夫委員】

記録に残したほうがよい。目的、協議内容、結論くらいでよい。

【君波豊会長】

次にイの会議運営について協議する。「予定が立てにくい」等や会議の進め方についても意見があったようである。個人的にはできるだけ皆さんから発言いただきたいと思い、間を取りながら進行しているつもりであるが、まだまだ足りないところがあると思う。大潟区については、原則として毎月第四木曜日を開催日と定めて、この場で次回の日程確認をしている。自主的審議事項では、グループ討議、視察等も実施している。これ以外に意見はあるか。

【土屋郁夫委員】

昨年度はコロナ禍であり、地域活動支援事業の成果報告会が開催できなかった。オンラインでもいいので、成果報告会は開催したほうがいい。審議をして採択された事業の結果がはっきりわからないと振り返りができない。

【君波豊会長】

今後はそういったことも考えていく必要がある。令和4年度も、会議開催等が難しい状況となることを想定していかなければならない。

他に意見はあるか。

(一同無し)

次にウの情報発信について協議する。当協議会では、A3両面の地域協議会だよりの記事の作成、編集、校正、印刷、棚入れまで全ての作業を編集委員で実施している。これは誇れる点である。地域協議会だよりについて、また、他の方法での情報発信について意見はあるか。

【土屋郁夫委員】

地域協議会だよりは全戸配布されているが、何らかの方法でフィードバックが欲しいという気がする。見る人は見るが、見ない人は見ない。反応を少し知ることができればよいと思う。

【君波豊会長】

地域協議会委員のOBに原稿依頼はしてきた。情報を出すだけでなく、「声欄」を作って意見募集する必要もあるかもしれない。

【佐藤忠治副会長】

13区は、1年毎に編集委員を交代してA3裏表で作成しているところが多いと思う。合併前上越市では、まちづくりセンターが複数の地域協議会の事務局をしているため、A4で似たような構成となっている傾向がある。頸北地区だけでも、他の地域協議会だよりを委員に配付するようにしたらどうか。また、事務局へ出向けば全区の地域協議会だよりを閲覧できるようにしていただきたい。

【五十嵐公子委員】

地域協議会委員になってから、コロナ禍のため閉鎖された状態にある。どことも情報交換や共有が無く、地域協議会の中だけで審議してきている。様々な意見を聞いての発言がしにくい。副会長の意見のとおり、他地域の地域協議会だよりを参考にして前に進んでいきたいと思っている。

【岩片班長】

他区の地域協議会だよりを参考にしたいとの意見があった。総合事務所で用意はしていないが、市ホームページで閲覧可能であるので確認いただきたい。

【君波豊会長】

毎年開催している頸北地区地域協議会委員合同研修会では、直近に発行した4区の地域協議会だよりを配付している。今年度の合同研修会場で、4区の中だけでも各委員数分の地域協議会だよりを配付しあうことを提案したいと考えている。

アの意見交換、イの会議運営も含めて他に意見はないか。

【山岸敏幸委員】

会議の開催時間であるが、冬季については時間の変更を考える必要があるのではないかと思う。冬季と言っても1月、2月でいいと思うが、雪の状況を考えると終了が9時近くになるのは困るし、日も短いので開始時間を6時から等にできないか。

【君波豊会長】

開催時間について事務局とも検討したい。

【山岸敏幸委員】

願います。

【君波豊会長】

足場の悪い冬季に、早く始めて早く終わるということも考えなければならないと思う。

【佐藤忠治副会長】

安塚区では、冬期は6時から、それ以外は7時からの開催である。大潟区では、高齢の委員が夜の運転に不安であるとのことで、日中と夜間の交互に地域協議会を開催していたこともあった。しかし、仕事を持っている委員もいるため調整が必要であった。

【君波豊会長】

開催時間については大潟区地域協議会の課題であるので、また皆さんと協議したい。地域協議会だよりは年3回、全戸配布で取り組んでいく。地域協議会だよりは、広報じょうえつが月1回となった時に回覧にできないかという話も出ていた。大潟区連絡会議で町内会長協議会と協議し、これまで通り全戸配布ということとなった。大潟区地域協議会発足以来、全戸配布していることを承知しておいていただきたい。

ウの情報発信についてはよろしいか。

(一同了承)

情報発信については、年3回、自前で作成して全戸配布を続けていく。過去には、急いで情報提供したいときに地域協議会だよりトピックスを発行したこともある。今後、急ぎの情報提供には、トピックスを発行して対応したい。

これで協議事項(1)「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組についてを終了する。なお、本日の検討結果については、自治・地域振興課に報告することとなっているのでご承知おきいただきたい。1月6日に地域協議会会長会議が予定されており、その場でこの件も報告される予定となっているので、開催後に報告したい。

次に、4. 協議事項の(2) 自主的審議事項「大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について」に移る。前回同様2班に分かれて討議を行う。班別討議後、各班の討議結果を発表してもらおう。それでは、移動の上、班別討議を開始していただきたい。

～グループ討議～

【君波豊会長】

短時間の討議であったが、Bグループから協議内容を報告いただきたい。

【土屋郁夫委員】

一番大事なものは、「何故、地域協議会がこういったことをやるのか。」という目的である。人魚館は、健康増進、憩いの場、地場産業、雇用の場であり、そういう大事なものをどうやって活用してもらおうかを改めて確認した。誰に訴えるかというのは、日帰り客

の地域である上越。今、関係人口と言われているが、上越が好きで来てくれる方。あとは、全国からの観光客である。今日は、広報、PRについて一番話をした。その他の部分は、時間がなかったため、各委員がアイデアを膨らませて出していっていき、その中から取捨していく。広報、PRについては、色々な仕組みがある。YouTube、LINE、Facebookなどがあるし、人魚館はホームページを持っているが、上越市が上越もようというハッシュタグをつけてInstagramをやっているの、そういったものとリンクさせていくのがよい。話が一番盛り上がったのがドローンである。まちづくり大潟が所持しているの、いろいろな場面で活用していくと、子どもを含め多くの人の目に留まり、大潟区に行ってみようということに繋がる。皆さんも普段から利用しているものがあれば発信していただきたい。また、人魚館の職員に入ってもらったワークショップは、必要であるということになった。以上である。

【五十嵐郁代委員】

Aグループでは、前回の討議で出た中から、取り組みやすく一番考えやすいものをイメージしながら話し合った。人魚館の人魚をイメージさせるものとして、PRのための看板や案内板が少ない。そこに力を入れて、例えば「あと何キロメートル」の表示や人魚をイメージさせるようなキラキラした可愛い看板や案内板を作成してはどうかという意見があった。また、人魚館の周辺を含めた景観づくりとして、人魚館に向かう途中でワクワク感や楽しさを増やしていける演出があったら面白いのではないかという意見があった。前回も、周辺を含めた花いっぱい景観づくりはどうかという意見があったので、地域の住民の皆さんと一緒に、人魚館に上がるまでの道を花でいっぱいにして、ワクワク、ドキドキさせるようなイメージ作りを図ろうという意見があった。地域との連携については、利用者の声はまだ足りないため、アンケートや意見交換会を、人魚館を含めた形で開催する必要があるという意見が出ている。内装については、お金がないことを前提にすると大規模な修繕は不可能であるが、イメージアップのために壁紙を替えたり、置物を工夫するなどには可能ではないか。「人魚館と言えば〇〇」というようなイメージ作りをキャッチコピーと共に作り上げていくのはどうかと考えている。「人魚館と言えば〇〇」と知ってもらうために、土産、サービス、食といった多角的な視点からの様々な意見を形にしていくことで、人魚館のイメージアップが図られれば集客にも繋がっていくのではないか。本来の目的である健康とスポーツのため、温泉やサウナ

を利用者の声やジムリーナとの連携を含めた集客もトータル的に考えていきたい。小川未明の「赤いろうそくと人魚」の物語とイメージが重なるので、物語の聖地といったような女性客のイメージアップに繋げるのはどうかという意見もあった。人魚館をイメージするロマンティックとかキラキラしたものとか、人魚を想像するものと併せてイメージをアップさせるために、地域と連携しながら、皆で楽しみながら進めていくことがAグループ委員の意見であった。

【君波豊会長】

方向は両グループとも同じかと思う。それぞれのグループへ質問等はあるか。

(一同無し)

その他に入る。私から報告する。上越市議会総務常任委員会から地域協議会会長と総務常任委員会委員との意見交換会の案内があった。1月22日土曜日に開催予定で、地域協議会の課題、地域活動支援事業の課題、地域自治区制度の在り方の課題について意見交換を行う予定である。結果については、報告したいと思う。

【佐藤忠治副会長】

地域協議会だよりについてお詫びしたい。第49号を本日発行予定であったが、再度、4人の委員に原稿依頼をすることとなり、発行日を1か月先送りすることとなった。

【関清委員】

人魚館のプールのウォータースライダーは破損したままとなっている。設備について続けていくのか、いかないのか。また、雪の季節となり、破損が広がると思われる。いろいろな模索をしていると思われるが、表に出てこない。人魚館のプールは、基本はレジャープールであり競技用ではない。ウォータースライダーがあるということはアピールポイントである。市は、廃止ありきで進めているのか、作り変えるつもりなのか。

【柳澤次長】

予算作成中であり、細かい話は伝わってきていない。地域協議会として内容を知らせてほしいということであれば、内容を公表できる時点となってからお話させていただく。

【関清委員】

決まってからということか。

【柳澤次長】

市長も代わり、予算も作成中であり、今は皆さんにお示しすることができない。

【関清委員】

ただ、破損したままにしておくというのは納得できない。

【君波豊会長】

ブルーシートなどで養生したらどうかと伝えていただければよいのではないかと。今、予算編成の時期なので、お伝えいただけるようになったらお願いしたい。

この件はよろしいか。

(一同了承)

総合事務所から連絡等はあるか。

【柳澤次長】

第9回地域協議会を1月27日木曜日午後6時30分から開催する。また、頸北地区地域協議会合同研修会が1月25日火曜日に開催される。会場は、柿崎区地区公民館3階集会室である。大潟区総合事務所から送迎バスが出るので時間までにお集まりいただきたい。

【山岸敏幸委員】

次回地域協議会が午後6時30分からと案内された。先ほど意見させていただいたが、冬季として開始時間の変更はしていただけないか。

【君波豊会長】

私も考えていたのだが、地域協議会委員の中には仕事を持っておられる方もおり、開始時間を早めると負担となる。会議を効率よく進め、終了時間になるべく早くなるようにしていきたいと考えている。ご協力いただきたい。

【佐藤忠治副会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-534-2111（内線 201、216）

E-mail：ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。